



浦町中だより

令和5年度 第4号

令和5年 7月21日(金)
浦町中学校発行 文責：校長

【校長挨拶】 1学期が終了し、生徒たちは様々な学びと成長の機会を得ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。生徒たちは真剣に学習に取り組み、特に自己表現やチームワークのスキルを伸ばすことができました。彼らの成果は、保護者や地域の皆様のご支援と学校との連携の賜物だと考えます。

今学期は素晴らしい行事や活動がたくさんありました。修学旅行や運動会、壮行式、中体連など、生徒たちは一体感を持ち、協力し合う姿勢をしっかりと示してくれました。これからも、多様な教育活動を通じて彼らの能力を伸ばし、豊かな人間性を培ってまいります。

本校では、教育環境の改善や教師の研修の充実にも取り組んでいます。保護者の皆様にも、お子さんの学習や成長を支える大きな役割があります。家庭では、学習環境とコミュニケーションの充実をお願いしたいと思います。

私たちの学校は皆様のご協力とご支援があって成り立っています。これからも皆様と協力しながら、生徒主体の教育に全力を尽くしてまいります。夏休み、一層の成長と成功を遂げることを願います。ありがとうございました。



『安全・安心な夏休みを送るために』～家庭ではデジタル機器やAIとどう向き合うか

7月5日(水) 青森警察署生活安全課の沢目 貴子 氏を講師にお招きし、「防犯・情報モラル講演会」を開催しました。近年、闇バイトに象徴されるようにSNSを使った犯罪が多発しており、小・中学生や高校生が被害に巻き込まれたり、自ら犯罪に手を染めたりする事案が数多く報告されています。犯罪までいなくても、友人同士のやり取りを巡ってトラブルに発展するケースも後を絶ちません。長く教育現場にいて数多くの事例や事案に立ち会ってきましたが、そこで感じたことは家庭における見守りの重要性です。例えば、家の玄関や窓の施錠をせずに強盗に遭い、警察に助けを求めても時すでに遅いのです。まずは、自衛の手段を徹底することが一番重要なことではないでしょうか。子ども達が被害者にも加害者にもならないために、保護者が監督者として日々見守るとともに、モラルやマナーについて教えることは、最も大事で効果的な家庭教育です。御家庭でも使い方やルール作りについて、夏休み中に親子で話し合っただけのよう、本中学校区小中連携推進協議会では5校共通の資料「親子で守ろう！ネット・ゲームのきまり」を作成しましたので、活用して頂ければ幸いです。

話は変わりますが、書き始めの校長挨拶文を読んで頂けましたでしょうか。その上で何か違和感を感じられたでしょうか。実は、この文は私（校長）が考えたものではありません。全文、今話題の生成AI (ChatGPT) の作です。私が打ち込んだ依頼内容は「1学期最後の学校だよりで校長が伝える短い挨拶文を考えて」たったこれだけです（行事名だけは付加）。驚いたのは質問送信から返答完了まで10秒かからなかったこと。そして、その内容です。本校の教育活動など全く知らないAIが、さもその場にいたかのような表現で今学期の総括をし、夏休み中の保護者へのお願いまで付け加えていることです。恐るべき技術革命です。まぐれかもしれないと思い、式辞や講話を考えてと再度送信したところ、これもまたアフターコロナや正解のない世界、人工知能、などのワードを織り交ぜながら20秒ほどで回答が返ってきました。私自身、式辞の作成には数時間から長ければ3日を要するのですが、ChatGPT作成の内容的に時勢を捉えたタイムリーな話題を中心にした建設的な文体には正直脱帽せざるを得ません。自身で使ってみて今後のスタンダードになることは間違いないと確信しました。

国（文部科学省）では、7月4日に全国教育委員会を通じて「生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を通知しましたが、一律に禁止や義務づけを行うものではない、としています。報道によると、使用の際のルールづくりや学校における活用の適否の例など、自治体や教育関係団体等でも独自に打ち出すところがあるようです。（一例：ベネッセが小学生向け生成AIサービス、夏休みの「自由研究」支援目的に無償提供 [7/13日経電子版]）

ここで申し上げたいのは、生成AIを使うか使わないかの議論ではありません。すでに世の中に公開されており、誰でも利用することができます。（ただし、開発元では子どもの発達段階を考慮し、年齢制限や保護者同意等の利用規約の遵守を謳っている。ChatGPT…13歳以上で18歳未満は保護者同意、BingChat…未成年は保護者同意、Bard…18歳以上）一部大手企業や地方自治体でも、一番の利点であるタイパ（時間対効果を意味する「タイムパフォーマンス」の略語）に着目し、利活用に向けて準備を進めているのが現状です。〔裏面に続く〕

要は、中学・高校時代に使うか使わないかの議論ではないということです。今の子どもたちは生まれた時からデジタルやAIの存在が当たり前の「デジタルネイティブ」「AIネイティブ」と呼ばれています。技術革新による新たな機器やサービスは、これからも続々出てくることは誰の目にも明らかです。文部科学省調査のデータによれば、10年前のスマートフォン所有率は小学生2.1%、中学生13%でした。令和4年度には、それぞれ64%、91%となっています。子どもにスマホは贅沢だし問題も多い、だから持たせるべきではない、と言われていましたが、わずか10年でここまでの市民権を得ました。AIの利活用は日常生活でも当たり前になり、人々の価値観も大きく変わっていくことは想像に難くありません。生成AIは無料で保護者の同意があれば使用できます。だからこそ、各家庭においても正しい情報を基にメリット・デメリットをしっかりと見極め、活用の適否やルールを考えてみる必要があります。未来社会を生きる子どもたちに伝えるべきことは何か、学ぶとはどういうことなのか。今一度社会全体で根本から考える必要があると思います。

「目指せ一流！ 限界突破！ 夢を夢で終わらせない」～東北大会での活躍に期待

見事、東北大会に駒を進めた4競技（バドミントン・卓球・水泳・陸上）34名の選手諸君に心からのエールを送ります。皆さんの一番の誇りと支えは、練習と仲間、そしていつも応援してくれる方々です。自分を信じ、仲間を信じて、決して慢心することなく、改善点や反省点を本番までにしっかりと修正し、今度は青森県のベストチームとして更に精進して、万全の状態で開催してきてほしいと思います。

「目指すは一流」ここから先は未だ見ぬ世界です。限界突破するためには人間力を高めること。量も質も両方必要です。だからこそ「人より練習、できていても練習」の心構えが大事です。スタートは切られました。気持ちを切り替え、節目をしっかりと意識して、健康面と精神面に最大限留意した生活を送りましょう。県代表として浦中旋風を巻き起こし、更に上位大会への出場を果たしてくれることを期待しています。入賞者一覧は別紙にて紹介します。

（中央：県大会で頂点に立った水泳部女子団体の優勝旗、左右は東青大会分）⇒



水難事故・交通事故防止に向けて

7/16～31は海の事故ゼロキャンペーン期間

夏本番、アフターコロナのレジャーとして多くの人が水辺を訪れ、楽しむ姿を目にするようになりました。一方で、水の事故で命を落とすケースも増えています。昨年は東北管内で6名の児童生徒が遊泳中の事故に遭い、うち1名が亡くなっています。また、溜め池での釣りでも中学生1名が亡くなっています。監視員が配置されている海水浴場以外では水に入らない、立入禁止区域には入らない、という原則をきちんと守ることはもちろんのことですが、①大人と一緒に複数で行動する ②ライフジャケット等を着用する ③緊急連絡できる体制を準備する ④天候等気象や海象の情報を収集するなど、各人各家庭でできる予防策はあります。

明日から33日間の休みに入りますが、気の緩みから事件や事故に遭わないよう、自他の命を守る行動を最優先に取り、安全安心で有意義な夏休みとなるよう、御家庭での注意喚起をよろしくお願い申し上げます。



併せて、7/21～31は夏の交通安全県民運動週間です。市内では小中学生の自転車乗車時、特に飛び出しによる事故が増加しています。ヘルメット着用の努力義務化も踏まえ、注意を呼びかけましょう。

7月下旬～8月の主な行事予定

- 24日(月) 引落日、3年授業日～27日・三者面談～26日
- 26日(水) 支援学級 3年職場体験実習～27日
- 27日(木) 小中連携合同夏季研修会
- 28日(金) 3年三者面談、青森市平和の日
- 31日(月) 小中リーダー会議(午後)
- 8月 生け花クラブの作品⇒ 
- 1日(火) 引落日②
- 13日(日) 学校閉庁日～15日(火) ⇒ 職員不在のため、緊急時は市教委学務課 TEL 718-1402まで御連絡ください。
- 17日(木) 3年授業日～21日(午前4時間)
- 支援学級(1・2年) 出校日
- 18日(金) 1・2年出校日、未来ミーティング
- 21日(月) 学校運営協議会③
- 22日(火) テスト前部活動休止～24日
- 24日(木) 始業式、Ⅱ期時間割開始、引落日①
- 25日(金) 1・2年実力テスト、3年模擬テスト②
- 常任委員会
- 28日(月) 支援学級宿泊体験学習～29日、全校集会
- 29日(火) 代議員会、S・C来校日
- 30日(水) 県学習状況調査(2年)
- 31日(木) 東青中学校英語弁論大会

第74回 青森県中学校体育大会夏季大会 入賞者一覧

[R5.7.21発行]

浦町中だより第4号別紙

○陸上競技 女子総合[第2位] **祝**東北大会出場 (岩手県盛岡市開催8/8~10、第4位まで)

女子 1年100m[第3位] 吉田 美月 [第7位] 吉田 美咲
 2年100m[第7位] 竹内 花音、3年100m[第1位] 齊藤 日菜
 共通200m[第2位] 工藤 愛華、共通800m[第6位] 蒔苗 小英
 2・3年1500m[第3位] 澤田日桜乃
 低学年4×100mR[第2位] 武藤 風芭・吉田 美咲・吉田 美月・神 日向詩
 共通4×100mR[第1位] 蒔苗 小英・齊藤 日菜・竹内 花音・工藤 愛華
 男子 共通800m[第8位] 新井田 直彦、共通3000m[第3位] 齊藤 琉空
 共通110mH[第8位] 村田 凜太郎
 共通4×100mR[第3位] 安宅 重翔・村田 凜太郎・小笠原 璃久・柳谷 昂太郎



○水泳競技 女子総合[第1位] **祝**東北大会出場 (福島県郡山市開催8/6~8、第4位まで)

男子 100m自由形[第7位] 佐藤 啓達、100m背泳ぎ[第7位] 小山田 律人、200m背泳ぎ[第5位] 小山田 律人
 4×100mフリーR[第6位] 佐藤 啓達・山口 健太郎・漆畑 結仁・小山田 律人
 女子 50m自由形[第1位] 井筒 仁子 [第2位] 野澤 琳乃 [第3位] 國分せいら
 100m自由形[第1位] 井筒 仁子 [第2位] 國分 せいら
 200m自由形[第5位] 原田 栞 [第6位] 成田 恵
 100m背泳ぎ[第5位] 小笠原 涼花 [第7位] 蒔苗 紗季
 200m背泳ぎ[第5位] 小笠原 涼花 [第6位] 蒔苗 紗季
 100m平泳ぎ[第3位] 棟方 梨衣沙
 200m平泳ぎ[第4位] 棟方 梨衣沙 [第8位] 棟方 向日葵
 100mバタフライ[第3位] 野澤 琳乃 [第6位] 原田 栞
 200m個人メドレー[第4位] 成田 恵
 4×100mフリーR[第2位] 國分 せいら、成田 恵、井筒 仁子、野澤 琳乃
 4×100mメドレーR[第1位] 成田 恵、國分 せいら、小笠原 涼花、井筒 仁子



○バドミントン競技 男子団体[第3位] **祝**東北大会出場 (岩手県北上市開催8/1~3、第3位まで)

矢萩 凜斗、金田 煌永、鳴海 瑛人、高橋 悠理、坂岡 滯
 男子シングルス[第3位] 矢萩 凜斗 [第5位] 金田 煌永
 男子ダブルス[第5位] 高橋 悠理・坂岡 滯
 女子ダブルス[第5位] 大釜 心蘭・磯野 瑠南



○卓球競技 女子個人 **祝**東北大会出場

(宮城県利府町開催8/4~6、第5位まで)

女子個人[第1位] 福士 心菜 [第5位] 福士 歩奈



第69回全日本中学校通信陸上競技大会青森大会

男子 共通200m[第7位] 柳谷 昂太郎、共通3000m[第5位] 齊藤 琉空、共通走跳幅[第7位] 猪股 大倭
 低学年4×100mR[第3位] 木村 颯希・今本 暖太・畑山 円重・大庭 蓮翔
 共通4×100mR[第5位] 安宅 重翔・村田 凜太郎・小笠原 璃久・柳谷 昂太郎
 女子 1年100m[第2位] 吉田 美月、2年100m[第6位] 竹内 花音、3年100m[第2位] 齊藤 日菜
 共通200m[第1位] 工藤 愛華、共通800m[第5位] 澤田日桜乃、共通1500m[第6位] 澤田日桜乃
 低学年4×100mR[第4位] 武藤 風芭・吉田 美咲・吉田 美月・神 日向詩
共通4×100mR[第1位] 蒔苗 小英・齊藤 日菜・竹内 花音・工藤 愛華

↑ **祝** 全国大会出場確定 (愛媛県松山市開催8/22~25) ↑

